

5

雪を生かした北陸の産業

○雪どけ水を生かした越後平野の稲作

越後平野^{えちご}:かつては湿原や湖沼が広がり、洪水に悩まされる

→江戸時代以降、干拓が進められ農地が整備される

→全国有数の稲作地帯となる

例)新潟県:魚沼産コシヒカリなど()が人気、米を原料とした食品産業の発達

＜新潟県・長野県・愛知県の農業産出額(2018)＞

	米	野菜	果実	花	畜産	その他
全国 9兆 1283 億円	19.2%	25.4%	9.2%	3.6%	35.7%	6.9%
新潟 2462 億円	58.7	14.2	3.1	3.0	19.4	1.6
長野 2616 億円	18.1	34.6	27.3	5.3	11.0	3.7
愛知 3115 億円	9.5	36.1	6.5	17.4	27.8	2.7

○冬の副業として発達した地場産業

北陸の産業:米は(☆)でつくられ、冬の期間は副業で工芸品を作る

→副業で得られた技術を土台に、()が発展

例) 燕市^{つばめ}(新潟県):金属製品、鯖江市^{さばえ}(福井県):眼鏡枠づくり

※()とは、1年間に1種類の農作物だけを栽培することで、一毛作ともいわれる

※()とは、古くから受け継がれた技術や地元で原材料を生かし、地域と結びついて発達した産業のこと

○雪どけ水を生かした工業と暮らし

北陸の発電:山岳地帯の雪どけ水を利用し、黒部川^{くろべ}などに水力発電所を建設

→大量の電力と水を必要とするアルミニウム工業が発展

→現在、輸入したアルミニウムを建具に加工する工業へ発展